

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (日高流域)

1 流域の特色(国有林 234千ha、民有林 171千ha)

本流域は、北海道の中央南西部に位置し、国有林は全国森林計画で定める沙流川広域流域の東側の日高振興局管内の6町に所在し、南北に連なる日高山脈とほぼ並行に走る海岸線に挟められた地理的条件にある。

日高流域の国有林は、流域面積の5割、森林面積の6割を占めており、国有林等の森林を源とする沙流川、厚別川、新冠川、静内川、三石川、元浦川等の急流河川が太平洋に注ぎ、豊富な水量と栄養分に富んだ水質は、電源開発、水産業に重要な役割を果たしている。

また、農林水産業と地場資源を利用した木材・木製品製造、食品製造業等が主要な産業となっており、特に軽種馬生産は全国的な主産地となっている。

国有林に対しては、豊富で良質な水資源の供給、山地災害の防止、高品質な広葉樹資源の供給等に対する期待が寄せられており、また、森林の山地災害防止機能の維持増進とともに、平成18年度に発生した豪雨及び低気圧等による被害箇所の早期復旧が求められている。

さらに、えりも岬国有林の緑化事業地は全国的に知られており、漁業関係者等地元
の森林・林業への関心は非常に高く、地域と連携した取り組みが求められている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

(1) 計画的な木材供給の推進

ア) 活性化協議会等における木材供給に関する情報交換

当流域において関係機関による木材利用等の政策、活動状況を発信するとともに、他流域の先導的な取組の情報を把握し、当流域での新たな協議会活動等の取組として検討する必要がある。

イ) 需要拡大・間伐材PR等木材利用の促進に資する取組

地域住民等への普及啓発とともに、地域産業における間伐材等の木材利用の促進を推進し、地域の活性化につなげる必要がある。

(2) 森林施業等の共通化

ア) 検討会の開催等森林施業の共通化に向けた取組

国有林と民有林行政担当者で取り組まれている「日高流域林野行政連絡協議会」等を活用した積極的な情報交換を行い、その推進を図る必要がある。

イ) 低コスト作業システムの普及啓発

森林の整備や木材生産の効率化に必要な路網と林業機械を組み合わせた低コスト高効率作業システムの普及啓発を図る必要がある。

(3) 林業技術の普及・啓発

ア) 森林整備等の普及活動

地域特産品である「アオダモの野球バット」の原材料となるアオダモの育成及び育成技術の普及啓発、NPO法人等の森林整備活動のフィールド提供等に積極的に取り組む必要がある。

(4) 効率的な路網整備

ア) 路網整備の情報交換

地元自治体との連絡協議会において、隣接する森林の情報交換を積極的に行い、路網の共同利用の推進による生産コストの低減等の効率的な森林施業に取り組む必要がある。

(5) 上下流連携の強化

ア) 森林整備の推進及び普及啓発

流域の民有林、漁協等と国有林の連携を推進するとともに、森林に親しむ機会の少ない地域住民等に対し「国民の森林」として国民参加による森林づくり、ボランティア団体との連携による活動などを支援し、森林整備等の重要な役割を普及啓発する必要がある。

イ) 森林環境教育の推進

「総合的な学習の時間」の活用等により、森林の果たしている役割等の普及啓発、子供たちの人格形成等に必要となる森林での体験活動を推進するとともに、教育関係者等と連携した森林環境教育の新たな手法やプログラムの開発を図る必要がある。

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

日高流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関（支庁、市町村、教育委員会、小中学校等）及び林業関係者、ボランティア団体等に聞き取り等により、平成21年12月から1月にかけて意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり139件（複数回答）寄せられた。

なお、要望等は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、安全・安心への取組、生物多様性保全に配慮した取組の推進、上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等、その他に区分した。

計画的な木材供給の推進（18件）

- ・間伐材の利用・未利用材等の木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組
- ・木材需給に関する情報交換等の実施
- ・システム販売等安定供給の取組 外

森林施業の効率化・共通化等の取組（12件）

- ・連絡協議会等の開催、情報交換会の開催、森林施業の共通化・低コスト作業システム等の導入に向けた検討会の開催
- ・森林整備推進協定の締結等による施業団地の設定、路網整備の効率化の取組
- ・森林整備推進協定の締結等によるその他の地域取組 外

林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成（22件）

- ・緑の雇用対策へのフィールドの提供
- ・新たな技術開発のための検討会等の開催、情報発信
- ・講師派遣等の技術的支援、安全講習会等への協力 外

安全・安心への取組（15件）

- ・民国が連携した森林保全事業（治山工事、保安林整備等）の実施
- ・治山連絡会議の開催、検討会・シンポジウムの開催、ハザードマップの調整等
- ・地域住民への防災情報等の発信、治山技術等の普及啓発の取組 外

生物多様性保全に配慮した取組の推進（19件）

- ・針広混交林化、広葉樹林化等の森林整備の実施及び鳥獣被害対策の実施
- ・生物多様性保全のための検討会・勉強会・シンポジウム等の開催
- ・生物多様性保全のためのモニタリング調査等の実施 外

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等（17件）

- ・フィールド提供等NPO法人、ボランティア等民間団体が行う森林整備等への支援
- ・森林環境教育等の実施 外

その他（24件）

- ・自治体、学校関係者との連携・協力を推進し、時代に沿った森林環境教育プログラム等の充実
- ・漁業協同組合との連携による森林育成事業の推進
- ・流域住民の森林散策等の利用へのニーズに対応した利便性の高い森林フィールドの提供及びその情報提供
- ・地域の森林に関する史跡等の発掘、活用による山村地域活性化への貢献
- ・森林フォーラム等の開催による国有林の情報提供 外

4 国有林野事業が率先して行う取組

計画的な木材供給の推進

ア) 目標

- ・流域での間伐材等の利用促進、木質バイオマスの普及啓発及び国有林として川

下のニーズ等を把握した適切な原木供給

- ・未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化協議会、関係団体、北海道日高振興局、森づくりセンター等

ウ) 取組方向

- ・関係機関と連携し、間伐材利用セミナーの開催
- ・関係機関と連携し、流域内の実態調査及び製材工場見学、ペレット工場見学を行い、民有林・国有林が共通認識を持ち、流域の木材の利用を推進
- ・木材生産現場の見学会、懇談会の開催
- ・流域内の木材供給量等の情報提供
- ・木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組

森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

- ・地元自治体との協定に基づく多様で健全な森林整備の推進、災害復旧事業における効果的な森林整備等
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化協議会、関係自治体、北海道日高振興局、森づくりセンター等

ウ) 取組方向

- ・関係機関・団体と連携し、「バットの森（アオダモ）施業指標林」の現況等の紹介
- ・森林施業の共通化、低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・関係機関・団体と連携し、災害に強い森林育成等の懇談会等の開催
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の取組
- ・低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組

林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標

- ・林野行政機関と連携し、林業技術向上のための森林施業・技術等の情報提供、意見交換を推進
- ・林業技術の普及・啓発の推進

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化協議会、関係団体、北海道日高振興局、森づくりセンター等

ウ) 取組方向

- ・「日高流域林野行政連絡協議会」等による民国の技術等の交流会の開催
- ・関係機関と連携し、木質バイオマスの普及啓発
- ・関係機関と連携し、地元の道産材、間伐材利用セミナーの開催

- ・「日高流域の林業・林産業の活性化を考える懇談会」の開催
- ・施業モデル林設定の取組

安全・安心への取組

ア) 目標

- ・地元産業育成等に貢献する緑化事業等の森林整備活動の普及啓発、行政機関と連携した連絡協議会の開催

イ) 連携・協力機関

関係自治体、二風谷ダム管理事務所、NPO法人等

ウ) 取組方向

- ・えりも岬国有林をフィールドとした、森林の果たす役割等について普及啓発の取組
- ・関係機関と連携し、二風谷ダム治山・治水連絡協議会の開催
- ・関係機関と連携し、水源林観察会等を開催し、治山・治水技術及び上流域の森林整備の必要性等の普及啓発活動

生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

- ・流域の森林生態系等に関するシンポジウム等の開催
- ・エゾシカ対策の推進

イ) 連携・協力機関

関係林野行政機関、関係自治体、二風谷ダム管理事務所、研究機関、NPO法人等

ウ) 取組方向

- ・関係機関と連携し、流域の森林生態系等に関するシンポジウム等の開催
- ・関係機関と連携し、自然観察会等における生物多様性保全等に対応した森林環境づくり等の普及啓発活動の取組
- ・開かれた国有林として、より地域に密着したアオダモ植樹祭の実施
- ・開かれた国有林として、より地域に密着したえりもイキイキ育樹祭の実施
- ・エゾシカ対策の実施

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

- ・教育関係機関と連携した森林環境教育の推進、流域の自然環境の維持・保全に関する森林整備の必要性を流域住民等に普及啓発活動として推進

イ) 連携・協力機関

森林・林業活性化協議会、関係団体、北海道日高振興局、森づくりセンター、教育関係者、ボランティア団体等

ウ) 取組方向

- ・小中学校等の総合学習を支援

- ・ えりも地区の中高一貫環境教育の支援、フィールドの提供、講演会講師派遣
- ・ 静内農業高校が行う二十間道路桜並木調査の支援、職員の派遣
- ・ ボランティア団体等による森林整備のフィールド提供
- ・ 「国民参加の森林づくり」協定の締結を図り、地域における森林環境教育の継続的な実施
- ・ 関係機関と連携し、教材、見本、標本、ビデオ等を活用した森林教室の実施

流域名・流域番号	日高流域（009）	担当部署	日高北部森林管理署 日高南部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		